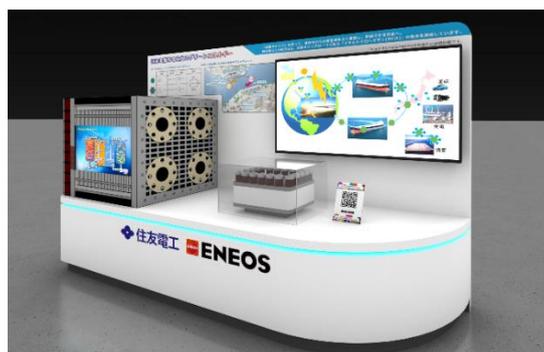


2023年10月24日

各位

ENEOS株式会社

Direct MCH[®]の新たな技術開発を 「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」に出展！



(ブースイメージ)

当社（社長：齊藤 猛）は、「JAPAN MOBILITY SHOW 2023（10月28日（土）～11月5日（日）、会場：東京ビッグサイト）」において、住友電気工業株式会社（以下「住友電工」）と新たに共同で開発した電解槽を出展しますので、お知らせいたします。

当社は、低コスト型有機ハイドライド電解合成法^{※1}（Direct MCH[®]^{※2}）という独自技術を活用した電解槽の大型化に向けた研究開発に取り組んでいます。今般、住友電工が有する電気化学デバイスに関する独自技術、ノウハウをDirect MCH[®]向けに展開することに成功しました。会場では、住友電工の技術を活用した新たなDirect MCH[®]の電解槽を、共同ブースにおいてご紹介します。

当社は、グループの長期ビジョンにおいて「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会への実現」の両立に向け挑戦することを掲げています。脱炭素社会・循環型社会に向けた本格的な水素大量消費社会を見据え、今後もCO₂フリー水素（グリーン水素）の製造技術開発をさらに促進し、コスト競争力が見込まれるDirect MCH[®]プラントの早期商用化を目指してまいります。

※1 水素を貯蔵・運搬に適した有機ハイドライド（水素キャリア）の一種であるMCHに変換するには、水電解によって生成した水素をタンクに一度貯蔵し、トルエンと化学反応させる必要があるが、有機ハイドライド電解合成法は、再生可能エネルギー等の電気から水とトルエンを用いてMCHを一段階の反応で製造する手法。MCH製造に関わる設備費を約50%低減することが可能。

（ENEOSによる試算、本技術完成時の試算値）

2019年3月15日公表「[「CO₂フリー水素」を低コストで製造する世界初の技術検証に成功](#)」

※2 Direct MCH[®]は、ENEOS株式会社の登録商標。

以上